

京都版ミニ・ミュンヘンについて①

資料 4

「京都版ミニ・ミュンヘン」とは

- ドイツの「ミニ・ミュンヘン」のように、**子どもたちだけの仮設のまち**をつくり、子どもたち自身が、**通貨や税金、まちのルール**を決め、選挙によって**市長**を選び、まちを運営する取組。
- **子どもの自主性・自立性**を育むとともに、大学生や若者が、企画段階から子どもたちをサポートすることで、**子どもと若者の交流機会**を増やし、「子育ては楽しいもの」という**ポジティブなイメージ**を広げることが目的。

京都版ミニ・ミュンヘン in福知山（令和6年8月12日）

本番前

- **小中学生が中心**となり、**大学生・若者**が子どもたちをサポートする形で、ワークショップを複数回開催し、子どものまちの通貨、税金の仕組み、ルール、店舗、市長を決める。



ワークショップの様子



市長選の投票



市長・副市長



通貨
(デザインも子どもたちが作成)

本番

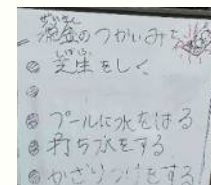
- 当日参加の子どもも含め、**約300人**の子どもがまちの市民となり、まちを運営。
- 働くことにより得られた**給料の一部を税金**として納め、市長を中心に、**税金の使い道を決定**。



ハローワークで仕事を探す



子どもたちの仕事の様子



税金の使い道を決定



大学生が子どもたちをサポート

京都版ミニ・ミュンヘンについて②

京都版ミニ・ミュンヘン in八幡（令和6年10月6日）

- ワークショップから参加した小中学生も含め、**合計約200人の小中学生**が参加。
- **大人の入場を禁止**して、**子ども市長によるオトナ見学ツアー**を実施。
- **ボランティアの高校生・大学生**や**商店街の大人**が子どもを見守りサポート。
- 当日は、市役所や銀行、本屋など**19店舗が出店**。集められた**税金**は、**じゃんけん大会**の実施や、**子どもたちへの水の支給**に使われた。



ワークショップの様子



市長選の投票



市長・副市長



ハローワークで仕事を探す



じゃんけん大会



子どもたちの仕事の様子



オトナ見学ツアー



集合写真

参加した子ども、保護者、サポート役の大学生等の声

子どもからの主な意見

- ・自分でお店を運営し、色々なお店で買い物をしたのが楽しかった。もっと店舗を増やしたいので、**来年もあれば是非参加したい**。
- ・「**まちをより良くしたい**」という思いから、**市長に立候補**。多くの子どもが楽しそうに働き、笑顔で過ごしてくれる姿を見て、嬉しかった。
- ・お店の運営を通じて、**知らない人たちとも交流ができ、仲良くなれた**。
- ・サポートしてくれた**大学生には、色々と優しくアドバイスをもらい、沢山助けられた**。
- ・銀行での仕事を通じて、**まちの生活を支えているという実感**を得ることができた。
- ・仲間に支えられながら、市長としてまちを引っ張るという経験をし、これは、**実際の世の中でも大切なこと**だと感じた。
- ・**大人が実際にしている仕事の大変さを学び**、将来に向けて、これから色々と知識をつけていかなければならないと感じた。

保護者からの主な意見

- ・**色々な大人や地域の方と子どもが関わる機会が増えれば**、自分の子を知ってくださる方も増え、**子育てをするうえで安心感**がある
- ・普段は大人が準備したイベントへの参加が多いが、**子どもが企画から参加し、実際に働いた**ことで、まちの賑やかさは、色々な準備のもとに成り立っていると学べたように思う。

大学生等からの主な意見

- ・「子育て」は、実際に経験しないと分からないことが多く、**ネガティブなものではない**ことを学んだ。
- ・子どものために頑張る大人の姿を見て、「**子育ては、こんなにもあたたかいものなのだ**」と感じた。
- ・子育てはできないと思い込んでいたが、今回参加して、自分にも誰かを尊重しながらサポートする力があることを知り、「**私にも子育てができるかもしれない**」、「**今後の人生設計に子育てを組み込んでみよう**」と思うきっかけとなった。
- ・子どもが自ら考え、行動する姿を目にしたことで、子どもというのは、「できないことが多いのではなく、できることを増やしている過程である」と知り、**比較的自分の子育てを楽観的に考えられる**ようになった。
- ・子どもと関わる楽しさも大変さも知り、**子育てに対する漠然としたイメージが現実になった**ように感じた。多くの同世代にも是非同じ経験をしてほしい。

、令和7年度以降について

令和7年度以降の取組について

- ・ 今後は、本事業の趣旨に賛同いただける個人・団体との協働により、取組を継続、拡充させていきたい。
- ・ 令和7年度は、京都府・京都市・京都市児童館連盟の3者で連携の上、京都市内で開催することとし、**令和7年10月25日（土）梅小路公園で開催予定**（児童館連盟主催「京都やんちゃフェスタ」同時開催）
- ・ 子育て環境日本一推進会議の参画団体の皆様におかれましては、是非視察にお越しいただきたい。

子どもスタッフ募集チラシ



子どもたちでまちをつくる?!
京都版ミニ・ミュンヘンin梅小路

子どもスタッフ募集中!!

小学生スタッフ：100名程度
中高生世代スタッフ：20名程度

2025年
10月25日(土)
10:00~15:30
@梅小路公園
(京都市下京区観音寺町56-3)

「京都やんちゃフェスタ2025」同時開催!

参加費 **無料**

参加条件

- ① 10/25当日、まちに参加できる人
- ② 事前準備にできる限り参加いただける人
※8~10月の土曜日に、市内の複数の児童館にて5回程度開催予定
※小学生の参加には原則保護者の送迎が必要
- ③ 広報、SNS等への写真掲載がOKの人

2025年8月4日(月) 京都まなびの街 生き方探究館にて、キックオフ&モノづくり体験イベント開催!

<主催> 京都版ミニ・ミュンヘン運営委員会 (京都市 京都府 京都市児童館連盟)

お問合せ mail: kyoto-mm@kyo-yancha.ne.jp (京都版ミニ・ミュンヘン運営委員会 事務局)



まちをつくるなかま募集!

ワークショップ ※8~10月の土曜日に市内の複数の児童館にて開催予定
※小学生の参加には原則保護者の送迎が必要となります

計5回程度のワークショップで、まちやしごとをふれたり、どんなまちをつくりたいかを話し合ったり、実際にお店の看板や商品をつくりたりして、ゼロからまちをつくりまします!

小学生スタッフ

- まちの“なか”で活躍するチャレンジャー!
- お店の企画・準備・運営 (カフェ・ゲーム屋・銀行など)
- 「こんなことやってみたい」大歓迎!
- こんなにオススメ!
- お店屋さんごっこが好き!
- まちのしごとに興味がある!
- 自分のアイデアをまちに活かしたい!

中高生世代スタッフ

- まちの“しくみ”をつくるリーダー!
- まちのルールや通達の仕組みを考える
- お金の流れや仕事の仕組みを設計
- 理想のまちのアイデアを形に!
- こんなにオススメ!
- 社会の仕組みに興味がある
- リーダーシップを発揮したい
- みんなと協力してまちをつくりたい

お申し込み **7月15日(火) 午後6時30分まで**

URL
(<https://forms.gle/CdATn3uso9NHdXsv7>)
もしくは、二次元コードから

その他
・昨年度の取組はこちら (京都府HP)
<https://www.pref.kyoto.jp/kikaku/kosodate/minimunich.html>

※応募多数の場合は抽選を行います。